

# スペースデザインカレッジ

## 「町家改修案コンペ展」 開催報告&投票結果発表

スペースデザインカレッジ東京校・京都校、スペースデザイン設計科2年生による町家改修案コンペ展を4月26日～5月1日に開催いたしました。この取り組みも12年目を迎え、今回の舞台は古くは米屋を営んでおられ広い通り庭が特徴の町家。この町家を保存・再生すること、地域との関わり方を考慮した提案、各グループ思い思いの「使い方」を表現しました。

4月22日には関係者の皆さまにプレゼンテーションを行い、講評していただきました。会期中は、多くの方にお越しいただき、100票を超える数の投票をいただきましたことを心より御礼申し上げます。この場をお借りして結果報告をいたします。



### 第1位

Bグループ／林隼平 倉島逸樹 前原佳代子 嶋田勇人

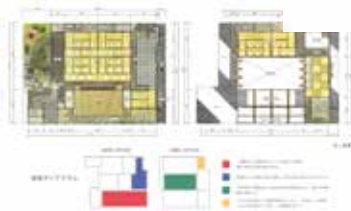
### 子どもたちを大きく成長させる場所

今を生きる子どもたちが持つ無限大の可能性を、町家を通して文化体験・地域交流をすることで大きく伸ばせるのではないかと考えました。子どもたちを大きく成長させる場所それが「いろはえん」です。このいろはえんで大きく成長した子どもたちが明るく色鮮やかな未来をつくってくれる。そんな未来を思い描きながら提案しました。



### 第2位

Cグループ／喜多小百合 谷口祐貴 戸高吏



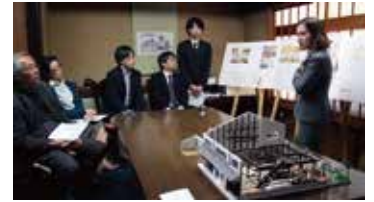
### 地域コミュニティの再生と活性化を担う京町家舞台

お町内や周辺地域に根付くコミュニティ施設「京町家舞台 黒門座」を提案します。舞台を創ることで、イベントによる集客でのコミュニティ創生や、地域住民による様々な利用目的によって能動的につながりを生み出せると考えました。この黒門座を皮切りに、碁盤の目に広がる京都市内の通りに様々なジャンルに特化した京町家舞台が増え、新たな京町家継承の形となることと、京町家舞台という新しい町家文化が発展し広がっていくことを考えています。



## 人と人 文化と伝統を今と結ぶ

着物を再生させ新たな形へと再生させるアトリエ+ショップ。デザイナーと伝統技術を持つ職人たちが一つの町家で着物の再生を行い、今の世代へ着物を継承させる。地域の人が関わることのできるお店、自然と人が集まるような仕掛け、それを目指しこの「むすびめ」を提案します。周辺地域ににぎやかさ、人の声が響くことを目指します。



## 町家さろん 憩い庵

つながりをデザインする町家さろん

町家さろんは、町家の伝統的な空間を現代の生活スタイルに合わせて再生し、地域の人が集まることのできる施設。町家の歴史や文化を継承し、地域の活性化を図ります。

つながりをつくる4つの空間



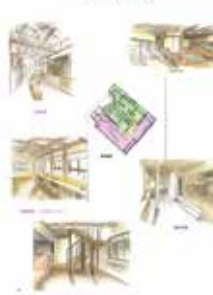
## 平面プラン



## 2階バース



## 1階バース



## つながりをデザインする

京町家が本来持つ「みんなでつくるコミュニティ」の意識と、サロンが持つ「文化・芸術的な社交場」という要素を掛け合わせた空間がある施設。つながりをテーマに、交流空間・図書空間・展示空間・創造空間の4つの空間で分け、地域や地域外の関わり合いが再生・復元できるように願いをこめて作成しました。京町家に関わる地域の活性化と新しい付加価値の提案をすることで、保存と再生を実現します。



## 原点回帰と再生 「商交舎」

かつて商業で栄えた町家を現代の商業スタイルに合わせて、シェアオフィスとして再生することで情報交流や地域交流を生み、町家に活気をもたらす。そして、人や情報が行き来する中でオフィスビルにはない京町家の良さを継承し伝達してもらいたい。また今後、空き家として現存している他の町家がシェアオフィスとして再生されていくことで京都の新たな商業の歴史を築いてほしい。



ご協力いただきました皆さまに心より御礼申し上げます。  
スペースデザインカレッジ